





# 上方寄席を堪能

平成14年度の「本物の舞台芸術体験事業」が、7月29日開催された。次代を担う子ども達や青少年が、優れた芸術を鑑賞することにより、心豊かに、健やかに成長してもらおうと、文化庁・中城村教育委員会などが主催した。会場となった吉の浦会館には、小・中学校の生徒や多くの村民が「上方寄席芸能」を堪能した。露の団六による「上方落語解説・入門編落語」から始まり、「寄席の獅子舞」、「二人羽織」などが演じられた。上方住吉会による「住吉おどり」には、中城小学校の垣花剛教諭が飛び入りで参加し、会場は大いに盛り上がりを見せた。



城(ガスク)とさとうきびの里

## ようこそ中城村へ

手作り名刺の交換で交流を深める

福岡県方城町の児童と

福岡県方城町の児童と中城村子ども会との交流会が、8月17日、18日の2日間、吉の浦会館などで行われました。今年の交流会には、方城町から18人の児童と方城町教育委員会社会教育委員長など27人が参加しました。方城町の子も達が、平和学習で沖縄を訪れた機会に、「城」がつく町村どうしという縁で始まった交流会は、今

年で8回目を数える。子ども達のさらなる交流を深めようと、4年前からは村内の家庭に民泊を取り入れました。初日の対面式で、和宇慶子

ども会の比嘉那菜子さんは「交流会の一番の目的は、皆さんと友達になることです。」と話し、和宇慶護佐丸太鼓の演奏などで歓迎しました。

2日目は、方城町の児童と北部観光に同行した後、中城城跡でお別れ会が行われ、近い将来の再会を誓い合いました。

方城町との交流会は、平成7年から始められ、これまで186人の児童が中城村を訪れ交流を図ってきました。残念ながら中城村から方城町を訪ねたことがなく、今後の課題ともいえます。

手作り名刺の交換で交流を深める

千葉県飯岡町の児童と

千葉県飯岡町の児童と津霸小学校・中城小学校の児童との交流会が7月31日、吉の浦会館で行われました。飯岡町から来た児童交流団



レクレーションタイムでの交流

は、那覇空港に到着後、「ひめゆりの塔」、「平和の礎」などを見学を終えた後、中城村を訪れました。交流団の神原庄一飯岡町教育長は、「友情をしっかりと育み、沖縄の歴史・文化、平和の尊さをしっかりと学びたい。」と話しました。児童達は、手作り名刺の交換やふれあいタイムで交流を深めました。

国際交流の架け橋に

南米3ヶ国の研修生

第七期生となる中城村海外移住者子弟研修生が9月3日沖縄に到着しました。



9月3日に那覇空港に到着

今年度の研修生は、ゴヤミユキカーリンさん(ブラジル)、ギマアンドレスヨシシゲさん(アルゼンチン)、ヒガセシリアさん(ペルー)の三人。9月4日に村役場を訪れた研修生に新垣村長は、「自分のルーツを求めるとともに、絆を深くして、沖縄との友好の架け橋になってほしい。」と話し激励しました。研修生は、9月11日からの日本語研修の後に専門分野の研修を受けることになっています。平成8年度から始まった受入事業は、これまで16人が研修生として来沖し、技術研修や村民との交流を通して国際交流の輪を広げた。



### 中城村議会議員選挙

任期満了に伴う中城村議会議員選挙が9月8日に行われ、即日開票の結果、新人6人を含む20人(女性1人)の住民の代表者が決まった。

今回の選挙には、現職4人の勇退により、新人9人が名乗りをあげ、25人による選挙戦が繰りひろげられた。

9月13日には、当選証書付与式が行われ、一人一人に当選証書が手渡された。



当選者一人一人に当選証書が付与される。

# 住民の代表者決まる

仲村春光 (56) 無・現3 農業 北上原952	比嘉明典 (54) 無・現6 無職 伊舎堂9	仲真功浩 (54) 無・新 農業 屋宜740-3	新垣健二 (52) 無・現2 無職 津覇529	浜田京介 (39) 無・新 会社役員 奥間902-2
比嘉定榮 (53) 無・新 無職 和宇慶201	宮城治邦 (53) 無・新 会社役員 久場486	仲宗根 哲 (53) 無・新 会社員 北浜178	比嘉盛安 (60) 無・現5 無職 久場260	新垣善功 (53) 無・現4 自営業 当間435-3
與那覇朝徳 (67) 無・現3 無職 登又426-1	新垣德行 (60) 無・現4 無職 和宇慶148-1	安里ヨシ子 (61) 共産・現2 無職 泊119	上原正恒 (60) 無・新 無職 泊362	知念政光 (59) 無・現2 農業 奥間704-5
宮城重夫 (56) 無・現3 農業 当間929	眞栄城安宗 (67) 無・現3 無職 南上原618	平安山良成 (60) 無・現4 無職 津覇101	喜舎場健司 (52) 無・現2 農業 新垣30	井口康市 (65) 無・現3 無職 伊集119

## 市町村合併をともに考える

### 全国リレーシンポジウム2002in沖縄

政府市町村合併支援本部や総務省などが主催する「市町村合併をともに考える全国リレーシンポジウム2002in沖縄」が、8月31日、吉の浦会館で開催されました。会場には県内市町村の職員や住民など約400人が参加しました。

併がなされることを期待します。」とあいさつを行いました。宮古地区市町村合併協議会事務局長の下地洋一氏が宮古地区の合併の取り組みについての現況報告や久米島町議会議長の高良ノブ氏による、今年4月に合併した久米島町の合併事例報告がなされました。

村民の健康を見守り続けてきた津覇介輔診療所が50年もの長い歴史に幕を閉じ、7月2日で閉所した。

# 50年の歴史に幕



戦後の混乱期に医療施設、医薬品が乏しい状況で地域医療を確保してきた。また医療機関の少ない時代に、子供の発熱、夜間診療、夜間往診などその役割

は大きかった。

比嘉先生は、助手時代を含め、65年間地域医療一筋に従事し、中城村民のみならず近隣市町村の住民の健康を守り続けた。

昭和61年4月現在で、離島を含む26診療所が開業していた介輔診療所も現在では8診療所になった。

特別で認められた「一代限りの診療所」ということで、閉まるのはわかってはいたが寂しい気がする。

比嘉先生、長い間たいへんご苦勞さまでした。そしてありがとうございました。

情報を十分に提供し、住民が自己の責任で決定できるようにしたい。  
(下地洋一宮古地区市町村合併協議会事務局長)

総合的な土地利用が可能となり、広域的に街づくりができる。  
(高良ノブ久米島町議会議長)





# 平和を学ぶ

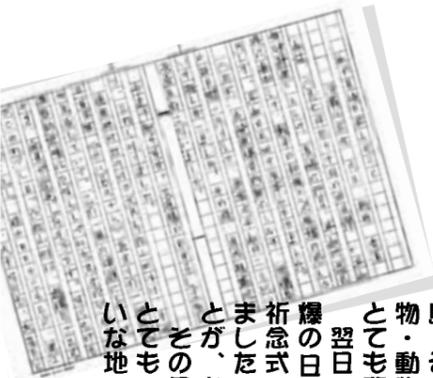
津覇小学校六年 新垣愛夏  
私が長崎で学んだこと

中城村は、8月8日から10日までの間、長崎県で開催された「非核宣言自治体全国大会と平和学習フィールドワーク」に村内の小・中学生三名を平和推進特使として任命し派遣した。

今年度、平和推進特使として任命されたのは、吉田大作くん(中城小学校六年)、新垣愛夏さん(津覇小学校六年)、新垣春菜さん(中城中学校三年)の三人。

7月24日に行われた平和推進特使の任命式で新垣春菜さんは「沖繩とは違う戦争の悲惨さを学び、ほんとうの平和とは何かを考え、みんなに伝えていきたい。」と話した。

三名は、戦争の悲惨さを肌身で感じ、平和の大切さを後世に伝え、平和に対する意識の高揚と平和推進の先導的な役割を果たすことが期待される。



私は、八月七日から十日の四日間、「平和推進特使」として、長崎に行き、平和祈念式典に参加して、戦争の悲惨さや原爆の恐ろしさ、そして平和の大切さを学んできました。

八日に、長崎原爆資料館ホールで、被爆者の話しを聞いた。原爆や平和のことについて話し合いました。その後、市内視察や交流会を行いました。

今まで知らなかった原爆の恐ろしさを知り、怖くなりました。爆心地付近の川が流れる松山町では、当時三百世帯(千八百六十人)あまりの一般市民が生活していた。この一発の爆弾によって、偶然防空壕に避難していた九才の少女を除き、全員が即死したそうです。なにもかもがこわれてしまった松山町は、想像をこえるほど地獄化し、道のあちこちに、黒く焦げた死体が横たわり、大きな川も、水を求めて来た人たちの死体で埋め尽くされていたそうです。

私は、今まで戦争の時に唯一地上戦が行われ、一般市民の多くが犠牲になった、私の住んでいる沖繩が一番の戦争の被害者だと思っています。でも、たった一発の原爆によって何もかもなくなってしまう長崎や広島、そして戦争の時に生きていたはずの植物・動物、人間が同じように被爆者だと知り、とても悲しくなりました。

## 新垣のウークイ綱

8月23日(旧7月15日)、新垣でウークイ綱が行われた。当日夕方、上・下に分かれた若者たちが力強く綱を編んでいる姿が見られた。材料となった萱は、ウークイとナカビの晩に少年たちが家々を巡り、空手を披露して集め、トウルー(灯笼)は中学生、テーブル(松明)は年長者が担当し造った。満月が見え始め、区長さんがナカミチの拝所跡で祈願した後、両組のガトーと子ども等による空手でいっそう盛り上がるなか、綱は引かれた。稲作が行われていた頃は葉を使って今よりもっと太い綱を編み、16日ウークイの深夜12時頃から始めたそう。電灯がなかった時代、「火事が頻繁にあったのでヒューゲシー(火消し)」の意味でいくつも携えたテーブルがとてもきれい、ドラ缶もソーグも10個くらいあったと聞く。本番前に行われていた細めのウガン綱が引き継がれ現在に至る。

## 添石のハチチブラー

8月25日(旧7月17日)、添石では盆明けの行事が行われた。戦前はノロ殿内から旗頭が出て太鼓やドラを鳴らした子どもたちが朝から賑やかに行列した後、西門にて長老がハチチブラーを被り、かぎやで風を舞ったといわれる。拝みだけは連綿と受け継がれており、くわえて今年、区長さんが代表でハチチブラーを被って奉納芸能が行われた。



添石区民とハチチブラー

## 民俗だより

第2号

### 奥間のガンを村に寄贈

8月31日、奥間ではガンヤー(龕屋)を取り壊し、ガン(龕)を村の歴史民俗資料室へ移すための拜みが行われた。ガンは、昭和35年頃、カッター(大工)の喜屋武盛博さんを中心にして造られたもの。戦争で以前のガンが破壊されたので、しばらくの間はカンバク(棺桶)だけで死者を運んでいたそうである。当時那覇に唯一あった材木店でチャギーを取り寄せ、津覇のガンをモデルにして出来上がったそのガンは、「二重死にはしたくない」と火葬を嫌がる人など二、三名の葬式に使われていた。火葬場ができ、火葬が定着してそのガンを使う機会はなくなったが、墓までの道のり、死者を担ぎ練り歩いた、今よりもっと死が身近に感じられたらどう当時の葬制を知りた上で貴重な資料である。



奥間のガンと製作者の喜屋武盛博さん(写真中央)



新垣の綱打ちの様子

仲村春吉先生(北上原出身)のご協力の下で行っている民俗調査では、各地域の色々な人たちにたいへんお世話になりました。ありがとうございます。今後ともご協力お願いします。

※現在教育委員会が確認されているガン・ガンヤーは津覇のもののみです。他地域の情報を待っています。添石のハチチブラーの由来・伝承は今のところ不明です。少しでもご存知の方、情報をお寄せください。

中城村教育委員会生涯学習課(前原)



# 国保と老健が変わります。

こくみんけんこうほけん

ろうじんほけん

平成14年  
10月から

## 4 退職者医療制度の対象年齢が70歳未満から75歳未満に

老人保健で医療を受ける方の対象年齢の引上げにあわせて、退職者医療制度の対象年齢も70歳未満から75歳未満になります。5年間で段階的に上げられます。70歳以上の退職者医療制度対象者の自己負担は、1割（一定以上所得者は2割）となります。

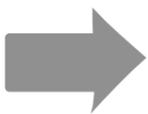
## 5 老人保健で医療を受ける方の対象年齢が75歳以上に

老人保健で医療を受ける方の年齢が70歳以上から75歳以上（一定の障害のある方は今までと同じ65歳以上）に変わります。5年間で段階的に上げていきます。ただし、平成14年9月30日までに70歳の誕生日を迎え、すでに老人保健で医療を受けいている方（昭和7年9月30日以前に生れた方）は、75歳未満であっても引き続き老人保健で医療を受けます。

## 6 老人保健で医療を受けたときの自己負担が1割に

老人保健で医療を受けたときに支払う自己負担は、外来・入院ともかかった費用の1割となり（一定以上所得者は2割） 外来の月額上限額及び診療所における定額負担選択制は廃止されます。

平成14年9月30日まで  
かかった費用の **1割負担**  
又は、定額制で1日850円



平成14年10月1日から  
かかった費用の **1割負担**  
ただし、  
一定以上の所得者は **2割負担**

## 7 医療費が高額になったときの自己負担限度額が変わります

9月30日まで	自己負担限度額	
	外来	入院
一般	3,200円 (大病院は5,300円)	37,200円
低所得者 非課税世帯等 福祉年金受給		24,600円
		15,000円



10月1日から	自己負担限度額	
	外来(個人)	外来+入院
一定以上所得者	40,200円	72,300円+
一般	12,000円	40,200円
非住民 課税	8,000円	低所得者 24,600円
		低所得者 15,000円

## 1 75歳になるまで国保で医療を受けます(自己負担額は1割に)

国保に加入している方で、昭和7年10月1日以降に生れた方は、75歳になるまでは国保で医療を受けることになります。ただし、70歳以上になると窓口での自己負担は1割（一定以上の所得者は2割）になります。

## 2 3歳未満の乳幼児の自己負担が2割になります

これまで70歳未満の方がお医者さんにかかったときの自己負担は3割でしたが、少子化対策の観点から3歳未満の乳幼児の自己負担は2割になります。

平成14年9月30日まで  
一般 **3割負担**  
(0歳以上70歳未満)



平成14年10月1日から  
3歳未満の乳幼児 **2割負担**  
3歳以上70歳未満 **3割負担**  
70歳以上 **1割負担**

## 3 高額療養費の自己負担限度額が変わります

同じ人が同じ月内に、同一の医療機関に支払った自己負担額が限度額を超えたときは、村に申請すると超えた分が高額療養費として支給されます。その自己負担限度額について低所得の方は据え置いて、一般や上位所得者は見直されます。また70歳以上の方には、あらたに自己負担限度額が設定されます。



# 案内・お知らせ

## 試験

### 危険物取扱者

消防法第13条の5第1項の規定の規定により平成14年度の試験を次のとおり実施します。

試験日時  
平成14年12月8日(日)  
午前10時開始

試験種類  
甲種・乙種第1〜第6類・丙種

試験会場  
沖縄国際大学外4ヶ所  
受付期間  
平成14年10月28日(月)〜  
11月1日(金)

案内書配布先  
各消防本部等

## 募集

### お知らせ

#### 原爆死没者のお名前と遺影を募集

広島市・長崎市に設置する「原爆死没者追悼平和祈念館」で公開するため原爆死没者のお名前と遺影を募集します。

対象  
昭和20年8月6日広島、同日9日長崎において直接被爆した方。  
原爆投下後2週間以内に被爆地に入り被爆した方。  
当時これらの方の退治であった方。等

### 第13回中部トリムマラソンを開催

お問い合わせ  
沖縄県健康増進課  
866 2209  
沖縄県原爆被爆者協議会  
862 3887

### 沖縄キリスト教短期大学社会人学生

1 特別推薦入試A日程  
募集学科  
英語科・保育科(若干名)

4月入学  
出願期間  
10月31日〜11月6日  
試験日  
11月13日(水)

2 社会人のためのAO型入試  
随時、面談と書類審査によって選抜  
申込期間  
2003年3月6日(木)

お問い合わせ  
沖縄キリスト教短期大学  
945 9782

## 相談

### 警察安全相談所の設置

困りごと相談等、気になることを気軽に相談してください。家庭内の暴力や子供の非行、ストーカーなどに不安を感じ、どこに相談してよいか分からず一人で悩んでいる

### 種目

20km・10km・5km・3km

申込方法  
所定の様式に申込料を添え直接持参又は郵送

申込場所  
沖縄県総合運動公園陸上競技場、琉球新報中部支社等  
参加料  
大人 2000円

お問い合わせ  
中部トリムマラソン事務局  
932 5114

### オータムジャンボ宝くじを発売

収益金が市町村の明るい街づくりや環境対策、高齢化対策等地域住民の福祉の向上のため使われる「オータムジャンボ宝くじ」が発売されます。

発売開始日  
平成14年9月26日(木)  
抽せん日  
平成14年10月17日(木)  
賞金  
1等 1億5000万円  
2等 2500万円  
3等 1000万円  
1000万円

方、連絡すれば警察の担当者が相談に応じます。

お問い合わせ  
宜野湾警察署安全相談係  
898 0110

### 行政相談所を開催

村民の皆さんからの苦情や要望を聞き、サービスの改善を進めます。例えば、道路の側溝にふたがない。高齢者等の安全や利便性を配慮して、施設を改善してほしい。

とき  
10月21日(月)〜25日(金)  
午前10時〜午後4時まで

老人福祉センター  
お問い合わせ  
中城村役場 住民生活課  
895 2131

### 全国一斉司法書士無料法律相談

毎年10月1日の「法の日」を記念し、全国一斉司法書士無料法律相談会を開催します。

日時  
平成14年10月1日(火)  
午前10時〜午後4時

場所  
吉の浦会館

お問い合わせ  
中城村役場 住民生活課  
895 2131

### 無料調停相談の開催

土地、建物、交通事故、金銭の貸し借り等でもめごとで困っている人や、離婚、相続、遺産分割などの家庭内の問題で悩んでいる方の無料調停相談を行います。

日時  
平成14年10月1日(火)  
午前10時〜午後4時

場所  
沖縄市農民研修センター  
(沖縄市登川2380番地)  
お問い合わせ  
コザ調停協会  
939 0011(205)

### 中学生とご家族のみなさまへ

国立高等専門学校(沖縄工業高等専門学校)のお知らせ  
平成16年4月に第1期生(現中学2年生以下)を受入れます。

高等専門学校は、大学、短大と同じ高等教育機関で、中学卒業者を受入れ、5年一貫教育で創造性豊かな実践的専門技術者を育成する学校で、沖縄県名護市に設置されます。

(名称) 沖縄工業高等専門学校  
(設置時期) 平成14年10月開学  
(学生受入) 平成16年4月第1期生受入れ  
(設置場所) 沖縄県名護市辺野古地区  
(学科及び1学年入学定員)

情報通信システム工学科	40人
メディア情報工学科	40人
機械システム工学科	40人
生物資源工学科	40人

(入学資格) 中学卒業者  
(修学年限) 5年(卒業した者は、「準学士」の称号が得られます。)  
(学生寮) 1、2年生は全寮制。3〜5年生は希望制の寮。

◎お問い合わせ  
琉球大学沖縄工業高等専門学校創設準備室庶務係 895-8091  
※沖縄工業高等専門学校の情報は琉球大学のホームページ  
(<http://www.u-ryukyuu.ac.jp/>)の「大学総合案内」に掲載。





# むらの話題 *Topics*



8月24日

## 旧盆の 伝統行事が 行われる

旧盆の伝統行事である「津覇エイサーの夕べ」と「当間の綱引き」が、8月24日(旧暦7月16日)に行われた。津覇エイサーの夕べには、区民多数が参加。保育園児による子供エイサーや老人クラブ、婦人会の余興や青年会のエイサー、伝統芸能保存会や中学生による「津覇の獅子舞」が演じられた。

当間の綱引きには、村内から多くの人々が綱引きに参加した。上組と下組に分かれた陣営から旗頭が現れ、お互いに「ガーエー」が繰りひろげられた後、両方の綱が歩み寄りカヌチ棒が買かれた瞬間綱が引かれた。



## 15,000人目の 村民に安里夢乃ちゃん

8月1日に中城村民が15,000人を達成した。15,000人目の村民には、中城村字伊舎堂の安里夢乃ちゃん(0)。父の安里元政(もとまさ)さん、母の由美子さんの二女として7月20日に誕生、8月1日に届が出された。

8月19日に行われた記念証の交付式で新垣村長は「待望の人口15,000人に、夢乃ちゃんの誕生で達成できました。心より喜んでます。ご家族の健康とご家庭の繁栄を祈念します。」と喜びのことばと記念品を贈りました。元政さんは「自分の娘が15,000人目とは、夢にも思わなかった。ありがとうございます。」と話し、由美子さんは「役場から連絡があり、びっくりしています。名前のように夢のような話です。健康でやさしい子に育ててほしいです。」と話した。

8月19日



5月31日

## 社明大会を開催

すべての国民が犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、力を合わせて犯罪や非行のない明るい社会を築こうと、第52回社会を明るくする運動の中部南保護区の“社会を明るくする大会”が7月26日、吉の浦会館で開催されました。中部南保護区保護司会の吉濱活会長は「学校をはじめ、関連機関、団体と連携し、大人も子供も夢や希望を持って支えあって生きていける明るい地域をつくるのが、大人に与えられた責務である。青少年の健全育成のため地域浄化に向けた大きなうねりを発信していきたい」とあいさつ。“社会を明るくする”をテーマにした作文や標語の表彰式が行われ、中城小学校6年の新垣彩華さんら11名が表彰されました。その中から、5名の作文被表彰者が意見発表を行いました。



8月16日

## 子供たちが ワタリガニを放流

浜子ども会は、8月16日、中城湾沿岸漁業振興推進協議会の協力でワタリガニ(タイワンガサミ)の放流を行った。夏休みの思い出づくりのひとつとして行われた放流には、仲本善光中城支所長ら浜出身の漁業組合員が、本部町の栽培漁業センターから67,000尾余りのワタリガニを取り寄せ一緒に行った。放流に参加した5年生の山城千鶴さんは「生れて始めてやった。とても楽しかった。」と話した。



7月21日

## ブラジル琉球 舞踊団が ふるさと公演



日本の反対側に位置するブラジル連邦共和国で、沖縄の先人たちが残した琉球舞踊を保存継承している県人や二世、三世の皆さんによる“生り島ぬ踊りがなさ”特別公演が7月21日、沖縄県立郷土劇場で開催されました。ふるさとでの公演には、中城村出身の二世上原なえみさん・かおりさんの姉妹も出演しました。



## 「津覇の獅子」が全国で舞う

全国中学校文化連盟総合文化発表会が、8月22日、23日東京都で開催され、村指定文化財である「津覇の獅子舞」を中城中学校の津覇出身の生徒達が演じて参加した。出発前に村役場を訪れた生徒達に新垣村長は、「晴れの舞台です。健康に気をつけ、思い切って演技してください。」と激励した。高田聖也君は、「生懸命頑張ります。」と話した。



## 呉屋貴也・新垣聖太・喜舎場隆元が全国九州へ

7月31日に行われた第22回沖縄県中学校陸上競技大会の成績を報告するため、中城中学校の陸上部が村長を尊敬した男子の部が優勝。男女総合の部でも3位に入る大健闘。呉屋貴也君(1500m)、新垣聖太君(110m障害)、喜舎場隆元君(棒高跳び)は全国・九州大会へ派遣されることになった。新垣村長は、入部を通じ、心も体も鍛えられる。全国大会での健闘を祈ります。」と選手を激励した。

## 心地よい汗を流す



7月20日の「海の目」村民軽スポーツ大会が吉の浦公園で行われ、多くの村民が心地よい汗を流しました。これは日頃の運動不足の解消と、村民相互の親睦を図ろうと行われたもので、小学生から老人までがグランドゴルフを楽しんだ。

## 登又自治会が盆踊り



8月24日、登又自治会では恒例の盆踊りを行いました。会場には、小学生から老人クラブの方々までおよそ300人の区民が集まりました。小学生全員による子供エイサーや、中学生による空手の演技、PTAによる余興で賑わいを見せた。

## 屋宜自治会が清掃



屋宜自治会では、自分たちの住んでいる地域をよりきれいにしようと清掃活動を行った。今回行った場所は、屋宜海岸の防波堤で、雑草に覆われ海岸を散歩する人たちの通行に支障をきたしていた。清掃活動には区民約100人が参加。かまや小型コンボも出された。海岸付近を散歩するという男性は「すれ違うときに止まったりしていたが今はスムーズに通れます。」と話していた。